

各 位

2024年3月25日
株式会社まちのわ

金沢大学と「ファン通貨」を活用した被災地復興支援に取り組みます
— 産学連携による柔軟で持続的な支援を可能とする協力体制を構築 —

九州電力株式会社（以下、九州電力 本店：福岡県福岡市、代表取締役社長執行役員：池辺 和弘）、株式会社筑邦銀行（本店：福岡県久留米市、頭取：佐藤 清一郎）、SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝）の3社による合弁会社である株式会社まちのわ（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：入戸野 真弓、以下「当社」）は、3月20日から、被災地復興支援「Anshin Project（あんしんプロジェクト）」に取り組むこととしましたので、お知らせします。

九州電力及び国立大学法人金沢大学産学融合研究会は、2023年8月から「ファン通貨※」を活用した地域課題解決モデルの共同研究・検証を行っております。

※2021年に九州電力が取得したビジネス特許「支払情報管理システム、支払情報管理方法及びプログラム」の通称。「暗号通貨での決済に利用者の意思を組み込ませる（決済時に利用者の意思をアプリ等を通じて取得する）」という概念を定義したものの。

両者は、事業再開・復興を目指す事業者のニーズと、支援する法人・団体のリソースのマッチングを実施し、復興企画として立案することで、課題解決と復興支援を目指します。また、復興企画などの活動情報を発信する特設サイトも開設し、プロジェクトへの参加も受け付けます。

当社は「ファン通貨」を活用したキャッシュレス決済アプリ「AnshinCoin（あんしんコイン）」の開発、提供により「見える寄附・繋がる応援」として、支援者の意思が可視化された見える寄附と、個人の応援が直接届く新しい支援の形を目指します。

また、復興支援の一環として、令和6年能登半島地震の影響を受けた石川県七尾市へ、今月、企業版ふるさと納税の仕組みを利用して寄附を行います。先月は九州電力と協力し、水処理技術を有するベンチャー企業である株式会社Wapua製の小型海水淡水化装置を同市内に設置しています。

当社は今後も、情報プラットフォームを活用した地方創生及び地域活性化に取り組んでまいります。

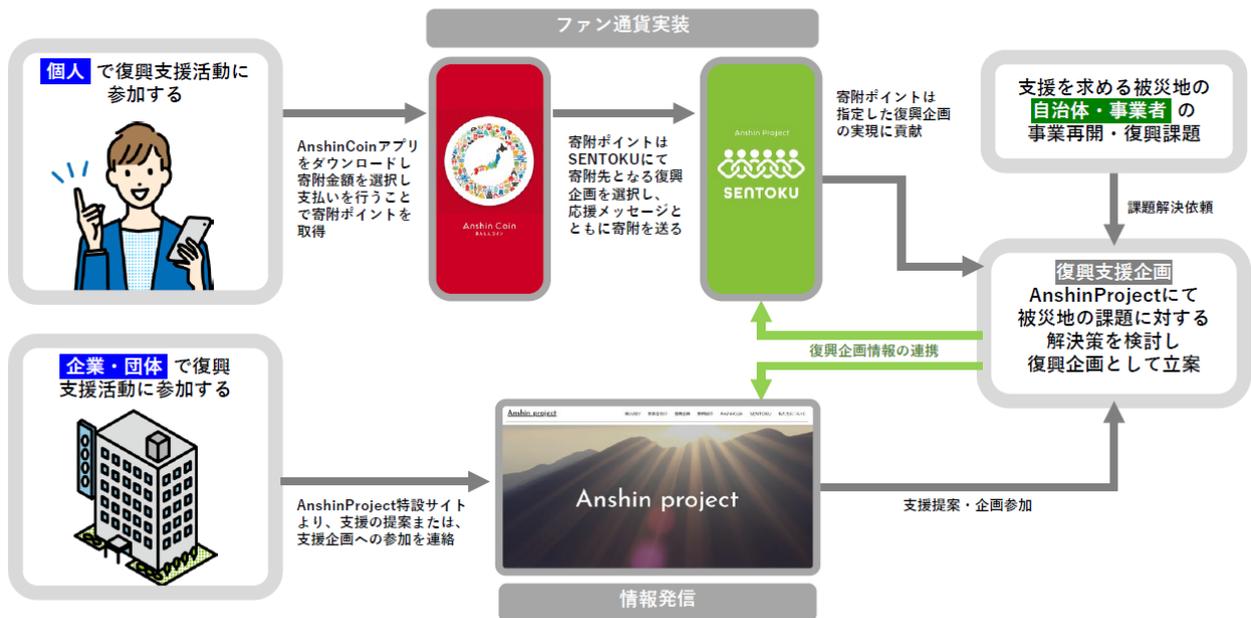
【別紙】AnshinProject の概要

AnshinProjectのイメージ

産官学で連携した復興支援を実現することでより柔軟で持続的な支援へ



AnshinProjectへの参加イメージ



以上

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社まちのわ 092-985-6430